


世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 19 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. **解答用紙はすべて回収する**。持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題用紙は必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、地図を参照しながら、下記の問いに答えなさい。

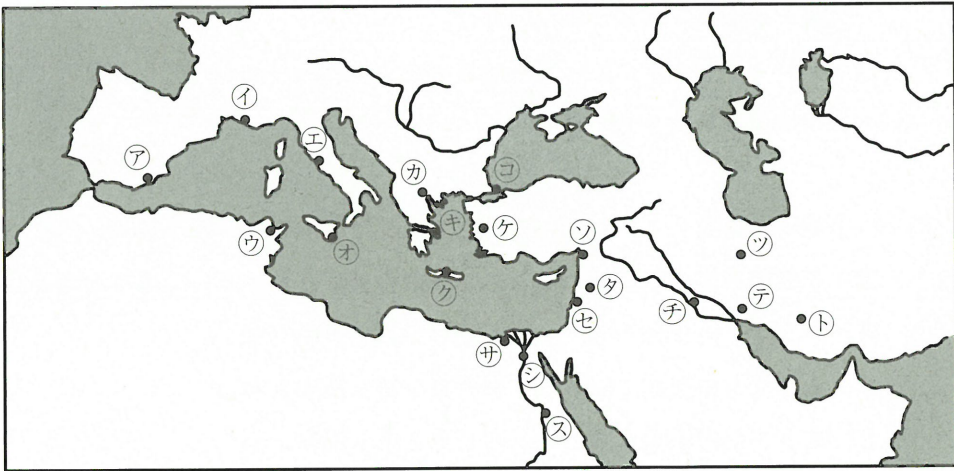
地中海は周囲を陸に囲まれた海洋という特徴のために、周辺諸地域の文化的・経済的交流を育んできた。古くはエジプトやメソポタミア地域の文明がクレタやミケーネの文明に大きな影響を与え、また後にはギリシアの工芸品や人物がオリエント世界に至ることもあった。

そのような中で、地中海交易に重要な役割を果たしたのは、シリア沿岸部の都市住民であったフェニキア人たちである。前12世紀頃の東地中海域の混乱の後、彼らはいち早く海上交易に乗り出し、地中海沿岸の各地に交易の拠点を建設して、活発な商業活動を行った。彼らが訪れる地域にもたらしたのは、交易の物品だけではなく、技術や宗教などの文化面での刺激もあった。たとえば、フェニキア人が使用していた文字は、ギリシア人のアルファベットとして受け入れられ、それはさらに西地中海域のラテン語の世界にも引き継がれ、現在のローマ字の元になっている。

アッシリア帝国が瓦解し、四王国時代、そしてペルシア帝国の覇権という政治情勢の変化に翻弄されながらも、フェニキア人は時々の強国の下に服属して、その命脈を保ち、ペルシアのギリシア遠征にも海軍として参加していた。しかし、植民活動を積極的に展開したギリシア人が、海上交易においても台頭し始めると、徐々にその対外進出に押されていった。結局、アレクサンドロス大王による征服活動と入植都市の建設によってヘレニズム時代が訪れると、東地中海での彼らの活動は大きく後退した。

ギリシア人は前7世紀頃から、黒海沿岸地域や南イタリアなどにも多くの植民市を建設して商業のネットワークを広げ、ギリシアからの特産品と各地の貴金属・穀物・木材・奴隷などを交易していた。エジプトにも古くからギリシア人の交易拠点が建設されていたが、ヘレニズム時代にはいっそう多くのギリシア人が移住・入植し、商業活動を活発に行った。その結果、ヘレニズム時代が幕を閉じた後も、『エリュトウラー海案内記』にあるように、エジプトからの特産品のみならず、ヌビア地方や紅海・インド洋からの交易品も、地中海世界にもたらされたのである。

一方、西地中海では、もともとフェニキア人の植民市として建設されたカルタゴが、商業の中心として栄えた。しかし、ローマがイタリア半島を統一して海外進出に乗り出すと、カルタゴは激しい戦争の末、潰滅させられることとなる。ローマは東地中海にも進出し、前2世紀にギリシアのマケドニア王国、前1世紀にはエジプトのプトレマイオス朝を滅ぼして地中海世界を統一した。こうして地中海はフェニキア人の海から「ローマの海」となったのである。



問 1 地図中の①の都市に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. デロス同盟の盟主となった後、民主政治を徹底的に進展させて商業・芸術・学問が非常に発達した。
- B. 現在のマルセイユに位置し、地中海交易の拠点としてギリシア人によって植民・建設された。
- C. フィリッポス2世が首都と定め、ヘレニズム時代もアンティゴノス朝の政治と経済の中心地として栄えた。
- D. ラテン人がティベル河畔に建設し、エトルリアの影響を受けつつも、共和政の都市国家として成立した。

問 2 地図中の㊸の都市に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 内陸の隊商交易を活発に行ったアラム人の中心都市として、東西を結ぶ商業で古くから繁栄した。
- B. 最古の铸貨を発行していた国の首都であり、ペルシア帝国では「王の道」の西の出発地点であった。
- C. ハンムラビ王によって、この都市で「目には目を歯には歯を」という同害復讐を原則とする法が制定された。
- D. ダレイオス1世によって建設された王都であったが、アレクサンドロス大王によって焼き払われた。

問 3 下線(a)に関連して、地図中の地点でエジプト中王国時代の首都とバビロン第1王朝の首都の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. エジプト中王国：㊸ バビロン第1王朝：㊹
- B. エジプト中王国：㊾ バビロン第1王朝：㊺
- C. エジプト中王国：㊸ バビロン第1王朝：㊻
- D. エジプト中王国：㊾ バビロン第1王朝：㊼

問 4 下線部(b)に関連して、クレタ文明とミケーネ文明の説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. クレタ文明の実在は、シュリーマンのトロヤ遺跡の発掘によって明らかになった。
- B. クレタ文明の宮殿には、海洋動物や人物が写實的に描かれた壁画が多数存在していた。
- C. ミケーネ文明の貢納王政の様子は、ヘシオドスの『神統記』にくわしく描かれている。
- D. ミケーネ文明が減んだ後、「海の民」によってギリシアの地域にポリスが創設された。

問 5 下線部(c)に関連して、カルタゴを建設したフェニキア都市の地点を一つ選びなさい。

- A. ㊦ B. ㊧ C. ㊨ D. ㊩

問 6 下線部(d)に関連して、フェニキア人とギリシア人の文字の説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. フェニキア文字は、商業文字として楔形文字に代わりオリエント世界に広く普及した。
- B. ギリシア語のアルファベットは、ミケーネ文明の線文字Bをもとにして作られた。
- C. アルファベットの普及を背景に、アテネではソロンが陶片追放制度を導入した。
- D. ヒエログリフ解読の資料であるロゼッタ＝ストーンは、ギリシア文字でも記されていた。

問 7 下線部(e)に関連して、地図中の㊫の都市が主力となってペルシア帝国軍を撃破した戦いを一つ選びなさい。

- A. カイロネイアの戦い B. テルモピレーの戦い
- C. レウクトラの戦い D. マラトンの戦い

問 8 下線部(f)に関連して、次に示すアレクサンドロス大王の業績とその後のヘレニズム世界についての説明のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. アレクサンドロス大王は、前 331 年に地図中㉔の地点でアルベラの戦いに大勝し、その後フェニキア諸都市を征服した。
- B. アレクサンドロス大王は、後にプトレマイオス朝の首都となるアレクサンドリアを地図中㉕の地点に建設した。
- C. アレクサンドロス大王の死後、後継者戦争が起こったが、シリアでは地図中㉖の地点を首都とするセレウコス朝が成立した。
- D. 前 3 世紀半ば頃に地図中㉗を首都とするバクトリアが成立し、ギリシア文化を東方へ伝える役割を果たした。

問 9 下線部(g)に関連して、古代のギリシアからの主要な特産品として、**適切でないもの**を一つ選びなさい。

- A. 赤や黒で図柄を装飾した陶器
- B. 文字の記録に使われたパピルス
- C. 葡萄の果汁を発酵させた酒
- D. オリーブの実をしぼった油

問10 下線部(h)の史料には、インド洋の季節風交易の記述があるが、その交易を行っていた東アフリカの都市として、**適切でないもの**を一つ選びなさい。

- A. マラケシュ
- B. マリンディ
- C. モガディシュ
- D. キルワ

問11 下線部(i)に関連して、次の文の中で**誤りを含むもの**を一つ選びなさい。

- A. 第1次ポエニ戦争に勝利したローマは、海外領土としてシチリア島を獲得し、それを最初の属州とした。
- B. 第2次ポエニ戦争でカルタゴのハンニバルが、アルプスを越えてイタリア半島に侵攻し、カンナエの戦いでローマ軍を破った。
- C. 第3次ポエニ戦争で、ローマはザマの戦いで決定的勝利をおさめ、カルタゴからヒスパニアを奪って属州に加えた。
- D. ポエニ戦争の結果、前146年にカルタゴは滅亡し、その領土は属州北アフリカとしてローマの版図に組み入れられた。

問12 下線部(j)に関連して、この時期のローマの歴史を説明する次の文のうち、**誤りを含むもの**を一つ選びなさい。

- A. カエサルは第1回三頭政治の後、ローマの独裁官になる前にブルートゥスらによって暗殺された。
- B. 第1回三頭政治を担った一人のポンペイウスは、閥族派のスラの後継者としてカエサルに対抗した。
- C. 第2回三頭政治を担った一人のアントニウスは、プトレマイオス朝の側に立ち、オクタウィアヌス軍と戦った。
- D. オクタウィアヌスは戦勝の後、プトレマイオス朝を滅亡させ、自らは元老院より「尊厳者」の称号を得た。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

現在、世界の人口の約四分の一がイスラーム教徒(ムスリム)である。一般に、ムスリムは中東地域に多く住んでいると思われるが、世界の国のなかでも第1位のムスリム人口を有する国は、インドネシアである。次いで第2位から第4位までは、パキスタン、インド、バングラデシュで、合わせて約7億人のムスリムが東南アジア・南アジア諸国に住んでいる。

南アジアへのイスラームの到来は、712年ごろ、ウマイヤ朝軍が海路からインドス川中流域まで進んだことに遡るといわれる。それ以前から、アラビア半島と南アジア地域との間で、海路による人々の往来があったが、イスラームの拡大とともに、陸路によるムスリムの南アジアへの流入が活発になった。

10世紀半ばには、サーマーン朝のマムルークが、アフガニスタン東部にガズナ朝を建国した。12世紀半ばには、ガズナ朝にかわってゴール朝がおこり、北インドにイスラーム支配の基礎を築いた。ゴール朝のマムルーク出身 ア は1206年に自立し、インド初のイスラーム王朝となる奴隷王朝をたてた。以後、デリーを首都とする5王朝はデリー＝スルタン朝と呼ばれている。

1526年、バーブルは北インドに進出し、最後のデリー＝スルタン朝であるロデー朝を倒して、ムガル帝国をたてた。ムガル帝国はイスラーム王朝であるが、大多数の住民はヒンドゥー教徒だった。16世紀初頭には、ヒンドゥー教のバクティ信仰とイスラームとを融合したシク教が イ によって創始された。また第3代皇帝アクバルは、ヒンドゥー教徒に対して融和政策をとった。

第5代皇帝シャー＝ジャハーンは、デカン高原の地方政権を服属させて、帝国の安定期をもたらし、帝国はインド・イスラーム文化の円熟期を迎えた。17世紀ごろのインドでは、綿織物・絹織物などの商工業が発展した。インドの綿織物は、イギリス・フランスそれぞれが設置した東インド会社を通じて、ヨーロッパに輸出された。

第6代皇帝アウラングゼーブは、インド南部も支配下に置いたが、よりイスラームに忠実な政治を推進したため抵抗にあい、同皇帝以後のムガル帝国の支配は不安定となり、帝国は分裂した。イギリス東インド会社は、18世紀後半から19

世紀前半にかけて相次ぐ戦いに勝利した。

1857年、東インド会社のインド人傭兵が反乱をおこし、首都デリーを占領した。これは、農民・商工業者、旧支配層・旧地主層を巻き込んだイギリスに対する大反乱に発展したが、イギリスによって撃破された。1858年、ムガル帝国は滅亡し、イギリスは東インド会社を解散して、インドを本国政府の直轄統治下においた。⁽ⁱ⁾イギリスのインド統治は、基本的には既存の宗教やカーストの分断を拡大し、固定化する方針のもとに進められた。

第一次世界大戦においても、インド兵は「イギリス軍」として従軍したにもかかわらず、戦後、イギリスは戦争協力の見返りとして約束したインド人による自治を認めなかった。しかし、第二次世界大戦で疲弊したイギリスは、インドの植民地支配を継続する力を失った。

1947年、ヒンドゥー教徒が多数を占めるインドとムスリムを中心としたパキスタン^(j)とが、イギリスからそれぞれ分離・独立した。とはいえ、今日のインドには、約1億6千万人のムスリムが少数派としてヒンドゥー教をはじめとする他宗教教徒と共存している。そこでは宗教・宗派を問わず参詣の対象となっている聖者も存在するという。

問 1 空欄(ア)、(イ)に入る語句として、最も適切なものをそれぞれ一つ選びなさい。

- | | | |
|-----|------------|---------------|
| (ア) | A. シヴァージー | B. アイバク |
| | C. マフムード | D. ジャラルルッディーン |
| (イ) | A. ヴァルダマーナ | B. ジンナー |
| | C. カビール | D. ナーナク |

問 2 下線部(a)に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. イスラームとは、唯一神アッラーへの絶対帰依を意味する。
- B. イスラームでは、モーセもイエスも預言者と考えられている。
- C. 聖典『クルアーン(コーラン)』は預言者ムハンマドの言行を記録したものである。
- D. イスラーム王朝支配下ではユダヤ教徒やキリスト教徒は、「啓典の民」として保護された。

問 3 下線部(b)のジャワ島に関連して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 8世紀、中部ジャワに古マタラム朝が成立した。
- B. 8世紀後半、ヒンドゥー教のボロブドゥール寺院が造営された。
- C. 10世紀以降、インド文化を吸収した独自の文化が花開き、ワヤンと呼ばれる影絵人形劇が発達した。
- D. 13世紀末には、元軍の襲来を受けた。

問 4 下線部(c)の時代の出来事として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. バグダードを首都として王朝がひらかれた。
- B. ウマイヤ朝軍がトゥール・ポワティエ間の戦いでフランク軍に勝利した。
- C. カリフの選出が世襲化された。
- D. 非アラブ人もアラブ人と同様にムスリムの特権を得た。

問 5 下線部(d)に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. イラン系ムスリムの王朝で、首都はブハラである。
- B. イラン系ムスリムの王朝で、首都はサマルカンドである。
- C. トルコ系ムスリムの王朝で、首都はブハラである。
- D. トルコ系ムスリムの王朝で、首都はサマルカンドである。

問 6 下線部(e)とその治世に関する説明として、誤りを**含むもの**を一つ選びなさい。

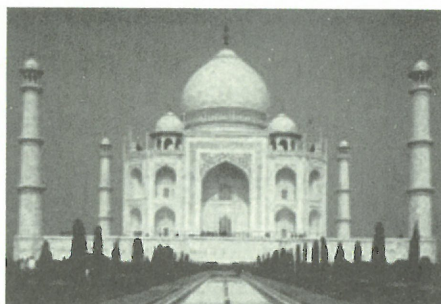
- A. マンサブダール制と呼ばれる官僚制を整えた。
- B. ラージプート諸侯の王女と結婚した。
- C. 側近に、治世時代について『王の書』を記述させた。
- D. 新都市アグラを建設し、首都とした。

問 7 下線部(f)が王妃の死をいたんで建てた墓廟として、最も適切なものを次の図版の中から一つ選びなさい。

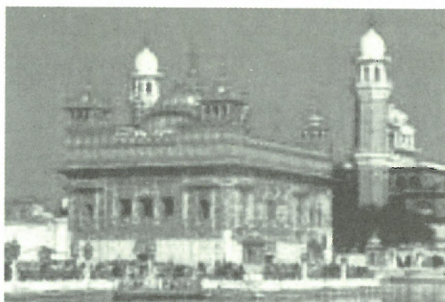
A.



B.



C.



D.



問 8 下線部(g)に関する説明として、**誤りを含むもの**を一つ選びなさい。

- A. キャラコという綿布の名称は、積出港であるカリカットに由来する。
- B. イギリスの産業革命は、綿織物の国産化を実現する過程で始まった。
- C. 江戸時代の日本では、模様を多色で染めたサラサ(更紗)が珍重された。
- D. 18世紀のヨーロッパでは、綿織物より毛織物の需要が高かった。

問 9 下線部(h)に関連した出来事(あ)～(え)を古い順に並べたものを一つ選びなさい。

- (あ) 人頭税(ジズヤ)が復活した。
- (い) デカン高原のマラーター同盟がイギリスに敗れて崩壊した。
- (う) プラッシーの戦いでイギリス東インド会社軍がベンガル太守軍を破った。
- (え) イギリスがコルカタ(カルカッタ)に商館を建設した。

- A. (あ)→(え)→(い)→(う)
- B. (え)→(あ)→(い)→(う)
- C. (え)→(あ)→(う)→(い)
- D. (あ)→(え)→(う)→(い)

問10 下線部(i)の後に起こった出来事(あ)～(え)を古い順に並べたものを一つ選びなさい。

- (あ) イギリスが、ローラット法を施行した。
- (い) ヴィクトリア女王がインド皇帝を兼ねるインド帝国が誕生した。
- (う) イギリスが、インド国民会議を主催した。
- (え) イギリスが、ベンガル分割令を公布した。

- A. (い)→(う)→(え)→(あ)
- B. (う)→(い)→(あ)→(え)
- C. (え)→(あ)→(い)→(う)
- D. (あ)→(え)→(う)→(い)

問11 下線部(j)に関連して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. パンジャーブ州とベンガル州ではほぼ中央に国境線がひかれ、難民が発生した。
- B. ガンディーは、ヒन्दゥー・イスラーム両教徒の融和を追求した。
- C. インドの初代首相は、タゴールである。
- D. 1971年、東パキスタンはバングラデシュとして独立した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

近代以前、中国を中心とする東アジアには、他地域には見られない独特の官吏登用制度があった。科挙とよばれる試験である。それは従来の官吏登用制度がもたらした状況を改め、広く庶民から有徳者を登用するために、隋によって創始された。科挙は唐にも継承され、唐代を通して科挙出身の官僚が増えていった。唐末五代の戦乱で貴族が没落すると、宋王朝のもとで、科挙は人材登用の機能を発揮する。宋は、科挙の最終試験として (ア) をおこなうことによって皇帝の独裁権力を強化し、 (ア) は以後の王朝にも受け継がれた。

科挙は儒家思想にもとづいて、徳が高く教養のある人材を選抜するものであった。そのため、官僚のなかには、文人や学者として知られている者も多い。また、 (イ) 技術の普及によって、科挙で問われる古典・教養が庶民にも獲得しやすくなり、庶民が経済的に成功すると子弟に科挙を受けさせることが一般化した。太平天国軍に対抗して湘勇を結成した (ウ) も、軍人と誤解されがちであるが、実は科挙に合格した文人官僚・学者で、祖父は一代で財を築いた農民だった。科挙制度は、さらに儒教・漢字文化を受容した周辺国でも採用され、ヨーロッパへも進歩的な制度として伝えられて、18世紀後半以降に始まるヨーロッパ各国の文官登用試験制度に影響を与えた。

科挙に合格するためには膨大な古典を暗記する必要があり、富裕層の子弟が有利だった。それでも高倍率のため、一生を受験に費やす者もあり、合格者を一族から代々出し続けることは至難だった。また、儒教の解釈が試験問題となったため、自由な発想が妨げられ、ひいては学問全体を停滞させ、さらに、儒教を重んじる傾向は、科学技術を技芸として軽視する風潮ももたらした。そのため、19世紀後半以降、ヨーロッパの近代科学や政治制度の導入を科挙が妨げているという議論が生まれ、1905年、科挙は廃止されることになる。

科挙廃止と相前後して、中国に近代学校制度が導入される。初等教育から中等教育、高等教育と段階的に教育を施し、その学歴に従って人材を登用する制度への転換である。だが、近代学校制度はすぐには普及しなかったため、科挙及第に代わる新たな学歴を求めて、日本留学ブームが起きた。留学ブームや中華人民共

和国成立後の学歴偏重社会形成の背景にも、1300年間続いた科挙による立身出世という歴史があった。^(h)そのため、現代の中国や韓国における暗記重視の苛烈な受験戦争は、しばしば科挙にたとえられるのである。

問 1 空欄(ア)～(ウ)に入る最も適切な語句を答えなさい。

問 2 下線部(a)を示した当時の言葉を一つ選びなさい。

- A. 上品に寒門なく，下品に勢族なし
- B. 王は君臨すれども統治せず
- C. 上に政策あれば，下に対策あり
- D. 王侯将相いづくんぞ種あらんや

問 3 下線部(b)に関連して、「唐宋八大家」のうち宋の官僚政治家を一人あげなさい。

問 4 下線部(c)に関連して、**誤りを含む記述**を一つ選びなさい。

- A. 中国王朝の科挙は周辺国からも受験できた。
- B. 朝鮮王朝の両班は科挙の採用によって勢力を失った。
- C. ベトナムの陳朝は儒教文化を取り入れ科挙を採用した。
- D. フビライがたてた元朝は、当初科挙を実施しなかった。

問 5 下線部(d)に関連して、こうした科挙や官僚の様子を風刺した清代の小説は何か。

問 6 下線部(e)に関連して、

- (1) 科挙の廃止を含む一連の改革の実施を命じたのは誰か。
- (2) また、その改革を何とよぶか。

問 7 下線部(f)に関連して、のちに新文化運動や五・四運動の中心となった大学はどこか。

問 8 下線部(g)に関連して、

(1) 1905年、多くの留学生を含む中国人が東京で結成した革命団体は何か。

(2) 同じころ、民族独立を目指すベトナム人がおこなった留学運動は何か。

問 9 下線部(h)を促した中国の政治・社会の変化A～Dを、古い順に並べなさい。

A. 第1次五カ年計画の開始

B. GDP世界第2位の経済大国化

C. WTOへの加盟

D. 文化大革命の終息

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

大航海時代以後、世界は一体化に向かって進んでいくように見える。そうしたなか、17～18世紀のヨーロッパ諸国の関係について注目すべきは、ヨーロッパ内の戦争や事件と連動して、その外の世界でも植民地争奪戦が繰り広げられていたということである。すでに16世紀末にスペインの^(a) [ア] を撃破したイギリスは、北米大陸およびアジアに進出していた。フランスも17世紀末に本格的に北米大陸に進出した。またロシアはシベリアや中央アジアへ勢力を拡大させた^(b) のである。

19世紀以降、世界は上で起きた動きを一層加速させた。一人のロシア人宣教師の行動もそのような状況で起こった。現在、東京神田駿河台の地にたっている東京復活大聖堂は、幕末から明治にかけて活躍し、日本ハリストス正教会の創始者である大主教ニコライによる創建である。1861年、ニコライは24歳の若さで日本伝道の大志を抱き、^(d) 単身馬車でシベリアを横断し、キリスト教禁制下の箱館のロシア領事館付司祭として日本に赴任した。日本に来てから、日本語はもちろんのこと、日本の歴史や習慣を勉強し、1868年に最初の信者3名を得ることができた。

ニコライが日本で活躍するよりも前に、世界では大量移住が発生していた。最大の流れはヨーロッパから新大陸へ向かうもので、その多くがアメリカ合衆国に渡った。移民の増大に伴い、合衆国はフランスからルイジアナを購入したのをはじめ、スペインからも [イ] を購入するなど、次々と領土を広げていった。そして、アメリカ＝メキシコ戦争によって、^(g) 領土は太平洋に達した。

19世紀半ばには、大西洋をめぐる三角貿易の一角を占めていたアフリカ黒人奴隷貿易が終焉を迎えていたが、新大陸をはじめ、アフリカや東南アジアで開発された農場、鉱山および鉄道建設に、あらたに膨大な労働力が必要になった。この需要にこたえたのが、中国人、日本人、 [ウ] などのアジアからの出稼ぎ労働者であった。このように、帝国主義時代の世界の一体化は、分割をめぐる列強間の競争、および人々の大移動によって支えられていたのである。^(h)

20世紀は、2度にわたる世界大戦と革命、そして冷戦を経験した。それらに

終止符が打たれた今日、地域的覇権をめざす国際紛争が発生し、民族や宗教の違いによる内戦やテロが多数勃発している。その意味では流動化の時代の到来といえるのかもしれない。他方、ニコライは、1904年から始まる (エ) のときも、ロシア人外交官全員が引き揚げる中ただ一人日本に留まった。しかし、第一⁽ⁱ⁾次世界大戦もロシア革命も知らずに、1912年、ニコライはすでに数万に達していた信者に惜しまれながら75歳でこの世を去った。その墓は東京の谷中霊園にある。

問 1 空欄(ア)～(エ)に最も適切な語句を入れなさい。

問 2 下線部(a)に関連して、1623年、モルッカ諸島の基地で起きた事件を契機に、インドに拠点を移すことになった国はどこか。

問 3 下線部(b)に関連して、ロシアが中国(清)と結んだ次の内容を持つ条約を古い順に並べなさい。

- A. モンゴル北部の国境画定
- B. ロシアによる黒竜江(アムール川)以北の領有
- C. アルゲン川とスタノヴォイ山脈(外興安嶺)を境とする国境画定
- D. ロシアによる沿海州の獲得

問 4 下線部(c)に関連して、世界の一体化への動きを促進させた近代諸科学の発達や調査・探検の成果を示す次の出来事のうち、**2番目に古い**出来事を一つ選びなさい。

- A. アムンゼンの南極点到達
- B. ライト兄弟による動力飛行機の初飛行
- C. ダーウィンによる進化論の提唱
- D. ヘーゲルによる弁証法哲学の提唱

問 5 下線部(d)の年の出来事として**適切ではないもの**を一つ選びなさい。

- A. ロシアの農奴解放令発布
- B. イギリスの第2回選挙法改正
- C. イタリア王国の成立
- D. アメリカ南北戦争の勃発

問 6 下線部(e)に関連して、第二次アヘン戦争の処理をめぐって、中国(清)におけるキリスト教の布教を認めさせた条約名を答えなさい。

問 7 下線部(f)に関連して、ジャガイモ飢饉で大量移民を出した地域の自治法案を、1886年に議会へ提出したイギリスの政治家は誰か。

問 8 下線部(g)に関連して、この戦争によってアメリカ合衆国がカリフォルニアとともに獲得した領土は現在の何州か。

問 9 下線部(h)に関連する次の出来事を古い順に並べなさい。

- A. 英露協商の締結
- B. ジョン=ヘイの「門戸開放宣言」
- C. 第1次バルカン戦争
- D. ファショダ事件

問10 下線部(i)の戦中・戦後に発せられた次の条約や宣言を古い順に並べなさい。

- A. 「ドイツおよびその同盟国の侵略による戦争の結果、連合国とその協調国およびそれらの国民にあらゆる損失と損害を生じさせたことに対し、ドイツとその同盟国が責任を有することを、連合国とその協調国政府は確認し、ドイツはこれを承認する」
- B. 「公正な、また民主的な講和は、戦争で疲れはて苦しみぬいているすべての交戦諸国の労働者と勤労者階級の圧倒的多数が待ち望んでいるものであり(中略)政府がこのような講和とみなしているのは、無併合(すなわち、他国の土地を略奪することも他の諸国民を強制的に統合することもない)、無賠償の即時の講和である」
- C. 「支那国政府ハ独逸国カ山東省ニ関シ条約其他ニ依リ支那国ニ対シテ有スル一切ノ権利利益譲与等ノ処分ニ付日本国政府カ独逸国政府ト協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキコトヲ約ス」
- D. 「平和の盟約が公開のうちに合意された後は、外交はつねに正直に公衆の見守る中で進められねばならず、いかなる私的な国際的了解事項もあってはならない」

(出典：歴史学研究会編『世界史史料』10)